

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度（令和2年度）	科目名	AIプロデュース	
科目基礎情報					
開設学科	AIシステム科	コース名	—	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	開講時間		授業形態	講義
教科書/教材	資料を配布する				
担当教員情報					
担当教員			実務経験の有無・職種		
学習目的					
A Iエンジニアにとって、データの持つ意味を考えることは良い精度を出すモデルを作るために必要不可欠であり、そのモデルが実際に有意であることを他者に認めてもらい業務に使ってもらうためにはモデルから出た結論を端的かつ論理的に説明ができる能力もまた必要である。 これらの能力を養うためには、論理的に思考を整理し、漏れなくダブリなく表現できる技術が必要となる。本授業ではこれらの技術をロジックツリーなどのツールを使い身に着けていく。					
到達目標					
仕事において自身の意見は相手に伝わってこそ意味があるものであるという認識をしっかりと持ち、その重要性について説明ができる。 また、他者に自身の主張を説明をする際に人それぞれ背景が違えば考えも違うという前提を理解し、どのようにすれば相手に伝わるかということを常に意識できるようになり、ロジックツリーやピラミッドストラクチャーなどの具体的なツールを用いて考えを表現することができる。					
教育方法等					
授業概要	各授業の前半で具体的なツール(ロジックツリー、ピラミッドストラクチャー)やその概念について説明を行い、後半ではそれらのツールを実際に使って考えを表現する技術を身に着けていく。また、最後にはディベートを通じて他者との意見交換を行い、多角的にものごとを見つめる習慣を養うとともに他者の尊重についても身に付けさせる。				
注意点	授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。欠席は基本的に認めない。授業に出席するだけでなく、社会人として働くことを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。課題によってはグループでの作業を行うため協調性も評価の対象となりうる。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	60%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回） 1回（2）時間 ※45分を1時間とする					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	イントロダクション		科目の概要、評価法について理解する		
2回	考え方の基本		M E C E（ミーシー）、演繹法と帰納法について説明できる		
3回	ロジックツリー(原因追求)①		W h a tツリーの概要を理解する		
4回	ロジックツリー(原因追求)②		W h a tツリーを用いて課題に対する原因を記述できる		
5回	ロジックツリー(問題解決)①		W h yツリーの概要を理解する		
6回	ロジックツリー(問題解決)②		W h yツリーを用いて課題に対する原因を記述できる		
7回	ロジックツリー(要素分解)①		H o wツリーの概要を理解する		
8回	ロジックツリー(要素分解)②		H o wツリーを用いて課題に対する原因を記述できる		
9回	ピラミッドストラクチャー①		ピラミッドストラクチャーの概要を理解する		
10回	ピラミッドストラクチャー②		ピラミッドストラクチャーを用いて、自身の主張を記述できる。		
11回	クリティカルシンキングの概要		ズームイン・ズームアウトについて説明できる		
12回	ディベート実践①		課題に対する自身の考えを説明できる		
13回	ディベート実践②		課題に対する自身の考えを説明できる		
14回	ディベート実践③		課題に対する自身の考えを説明できる		
15回	まとめ		ロジカルシンキング、クリティカルシンキングの重要性を説明できる。		